

保健体育科学習指導案

期 日 平成26年5月30日（金）第1校時
場 所 附 属 中 学 校 体 育 館
対 象 2年1組（男子20名，女子20名，計40名）
指 導 者 教 諭 大 井 幸 乃

1 単元 ダンス（創作ダンス）

2 単元のねらい

(1) 目標

感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい，イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。また，ダンスの学習に積極的に取り組み，仲間のよさを認め合うことなどに意欲をもち，健康や安全を確保するとともに，ダンスの特性，踊りの由来と表現の仕方などを理解し，自己やグループの課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

(2) 評価規準

【運動への関心・意欲・態度】

- ア 創作ダンスに積極的に取り組もうとしている。
- イ 仲間のよいアイデアや表現に声をかけるなど，互いの個性や表現を認め合って，誰とでも楽しく踊りに取り組もうとしている。
- ウ 練習や発表を行う際に，用具の準備や後片付けなどの分担した役割に，積極的に取り組もうとしている。
- エ 練習の際に，仲間の動きの手助けをしたり，学習課題の解決に向けて仲間に助言したりしようとしている。
- オ 自己や仲間の体調の変化に気を配ったり，用具や練習場所などの安全に留意しようとしたりしている。

【運動についての思考・判断】

- ア 活動の仕方，組み合わせ方，安全上の留意点などの学習した内容を，学習場面に適用したり，応用したりしている。
- イ 基礎的な知識や技能を活用して，学習課題への取り組み方を工夫している。
- ウ 自己や仲間の動きを観察し，課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。

【運動の技能】

- ア 日常的な動きや心象（意識の中に思い浮かべたもの）などの多様なテーマから，自らが表現したいイメージをとらえている。

- イ 動きを誇張したり，変化をつけたりして，「ひと流れの動き」にして表現している。
- ウ 表したいイメージを変化と起伏（盛り上がり）のある「はじめ－なか－おわり」のひとまとまりの構成で表現して踊っている。

【運動についての知識・理解】

- ア 仲間とともに感じを込めて踊ったり，イメージをとらえて自己を表現したりすることを楽しみや喜びを味わうことのできる運動であることを理解している。
- イ 他者とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する身体運動であることを理解している。
- ウ 表したいイメージをひと流れの動きにする表現の仕方があることを理解している。
- エ ダンスはリズムカルな全身運動であることから，その動きに関連した体力が高まることを理解している。

3 ダンス（創作ダンス）の特性

(1) 一般的特性

- ア 他者とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する身体表現であり，仲間とともに感じを込めて踊ったり，イメージをとらえて自己を表現したりすることを楽しみや喜びを味わうことのできる運動である。
- イ 踊りは，民族ごとの生活習慣や心情が反映されていたり，様々な文化の影響を受け発展したりしてきており，現在では様々なダンスが世代を超えて世界の人々に親しまれている。
- ウ 表したいイメージをひと流れの動きにし，軽快なリズムに乗って全身で弾みながら自由に踊るなどの身体を使った表現の仕方がある運動である。
- エ リズムカルな全身運動であることから，その動きに関連した柔軟性，平衡性，筋持久力などがその動きに関連して高められる運動である。

(2) 生徒の側から見た特性

- ア リズムをとらえ踊ることができると楽しい。
- イ みんなで動きを合わせて踊ることができるとうれしい。
- ウ 仲間と交流しながら学習できることが楽しい。
- エ 人前で踊るのは恥ずかしい。

4 生徒の実態 【2年生197名実施 実施日平成26年4月18日（金）】

(1) 体育の授業は好きですか。

好き	58.4%
どちらかという好き	27.8%
どちらかという嫌い	10.2%
嫌い	3.6%

(2) 体育で行う運動やスポーツは得意ですか。

得意	18.3%
どちらかという得意	43.1%
どちらかという苦手	26.9%
苦手	11.7%

(3) ダンス（からだで表現すること）は好きですか。

好き	17.5%
どちらかという人喜欢	43.3%
どちらかという苦手	27.9%
苦手	11.3%

(4) (3)で「どちらかという苦手」「苦手」と答えた人はその理由を2つ選択しなさい。

表現をするのが難しいから	24.4%
ダンス自体があまり得意でないから	20.3%
人前で踊るのが恥ずかしいから	13.2%
・ 表現の仕方がわからない。	
・ イメージが思い浮かばない。	

(5) これから創作ダンスの学習を行います、自分が楽しいと思える場面はどんなときですか。（複数答えてよい）

仲間と楽しく踊れる	60.4%
自由に表現ができる	38.1%
互いの動きや作品を見る	35.5%
自分の動きを認めて（褒めて）もらえる	26.9%
作品ができあがる	19.8%
できあがった作品を発表する	11.2%

(6) 創作ダンスの学習で、あなたの望むものは何ですか。（特に当てはまるものを2つ答えなさい）

友達と関わったり、協力したりするコミュニケーションを高めたい	51.8%
思い切り身体を動かし、体力を高めたい	39.6%
どのような練習にも好奇心をもって積極的に取り組みたい	30.5%
創作ダンスに必要なイメージや動きの表現の仕方を身に付けたい	29.4%
友達の動きを見てイメージを膨らませたい	23.4%
ダンスに関する知識を学びたい	16.2%

(7) グループを作ったりペアになったりして、様々な学習形態を作り授業を行うことについて、どのように思いますか。最も近いものを選びなさい。

得意	30.0%
どちらかという人喜欢	51.3%
どちらかという苦手	16.3%
苦手	2.4%

(8) 友達と互いの動きを観察し合ったり、アドバイスし合ったりすることについて、どのように思いますか。最も近いものを選びなさい。

得意	19.3%
どちらかという人喜欢	77.2%
どちらかという苦手	2.5%
苦手	1.0%

(9) (8)で「どちらかという苦手」「苦手」と答えた人はその理由を教えてください。

- ・ 他人にアドバイスしたことを自分ができるかわからないから
- ・ 自分の主張がなかなか取り上げられず、すぐに他人の意見に流されてしまうから
- ・ あまり発見することができないことや、うまく言葉にできないから
- ・ 自分がアドバイスすることを思いつかないから
- ・ あまり意見を言わないから

(10) 今回の創作ダンスでは、音楽とのコラボレーションをします。音楽で学習した鑑賞曲で印象に残っている曲を下の中から1曲選びなさい。

魔王	63.9%
春	26.9%
六段の調	5.6%
日本の民謡	3.6%

(考察)

質問1, 2, 3から、本校の2年生においては、8割以上の生徒が体育の授業を好意的にとらえているものの、得意と感じている生徒の割合は6割程度である。授業においては、基本的な技能を習得させながら、自己肯定感を味わわせることが重要であると考え。ダンスについては、6割くらいの生徒が好きと答えていることから、比較的ダンスの授業を行う上では親しみを持たせ取り組みやすいと考える。そこで、本単元においては、自己の能力に応じて自分の感じたままを素直に表現するといった観点から授業づくりを進めることで技能向上を図っていききたい。即興的な表現や身近にある音楽を利用した創作活動を授業に盛り込んでいきたいと考えられる。

質問5, 6から、過半数の生徒が仲間と深く関わりたいと考えていることが分かる。そこで、意図的なグルーピングを行うことで、生徒同士のグループ活動を活性化させながらコミュニケーションを深めさせていきたい。また、動きを誉め、自信を持たせる言葉かけや、それぞれの違いやよさを認め合える雰囲気づくりができるようにさせたい。

5 ダンス（創作ダンス）学習・指導の意義

- (1) リズムに合わせて、思い切り体全体を動かし、心身を解放して楽しく踊ることができ、体力・運動能力の向上ができる。
- (2) ストレス発散、心身の癒しの効果も実感することができ、日常生活でも身体を動かす運動に親しむ習慣や態度を育てることができる。
- (3) ダンスの特性から、自由にリズムをとらえ、動きを工夫し、課題を解決していくこと独自の表現を作り出す楽しさや達成感を得ることができ、動きや表現を探究する過程で自己への気づきを深めさせたり、周囲に対する感受性も高めさせたりすることができる。
- (4) 互いに協力しながら練習や発表を行い、課題解決に向けて、助け合ったり教え合ったりすることを通して、人との関わりを深めることができる。
- (5) 自己やグループの課題解決のために、計画的・段階的に自己の責任を果たしたり、協力したりしながら学習を進めていくことで、社会生活に必要な望ましい行動や態度を身に付けることができる。

6 ダンス（創作ダンス）学習指導上の方針・方策

(1) 動きの課題を追求するパート練習【教科論6(1)】

ア テーマから自らが表現したいイメージを膨らませるために、個の動きと群の動きに着目しパート課題を設定する。

(2) 動きをつくり上げるグループ練習【教科論6(2)】

- ア 「はじめ-なか-おわり」の構成を組み立てる過程で、パート練習で創り出した動きを共有し、ひと流れの動きにして作品を完成させる。
- イ パート練習で身に付けた動きを共有するために、個と群のそれぞれのパート練習で高まった動きをどのように組み合わせしていくかなどの意見交換をさせる。
- ウ 個や群の動きの技術（オリジナル）カードや各グループで考えられた独自の考えを構成するために、ジグソーボードを活用させる。
- エ 動きの気付きを分かりやすく整理するために、身体各部位の細やかな動きや表現について互いに助言したことなどを付箋紙に記入させ、ジグソーボードにまとめさせる。

(3) 互いの動きを高め合うアドバイス活動【教科論6(3)】

- ア 動きの高まりを見取るために、評価規準を基にして作成されたできばえチェック表を活用させる。
- イ 作品の完成度を高めるために、自他の動きをできばえチェック表で確認しながら演技の修正部分を明確にし、次時で活用させる。

(4) その他

- ア 学習の見通しを持たせるために、音楽とのコラボレーション学習であることの意図を説明し、音楽で学習したことを活用する場面があることを理解させる。
- イ 導入段階では、音楽とのコラボレーション学習の意識付けを図るために、音楽で学習した記号や曲を使い即興での表現活動を行う。
- ウ 2年次のダンス学習を振り返り、発展した創作内容にするために、単元の学習を「オリエンテーション」、「即興的に踊り、イメージをひと流れの動きで踊る段階」、「はじめ-なか-おわりに構成して踊る段階」「まとめの段階」の4つに編成し、合計11時間の学習に取り組ませる。
- オ 「はじめ-なか-おわりに構成して踊る段階」では、音楽の学習で既習した曲を使用し作品を作らせる。イメージを膨らませるために、音楽の授業で自分たちが描いたイラストカードやノートなどを用いる。
- カ 「まとめの段階」では、発表会で明確な視点をもって鑑賞できるように、鑑賞用ワークシートを用いて、相互評価を行わせる。
- キ 健康や安全については、十分に配慮できるように、確認の場を設けるとともに、生徒が相互に気を付けられるように、単元を通して声掛けをしていく。

7 ダンス（創作ダンス）指導・評価計画

段階	時間	指導計画			評価計画
		○技能の内容	●態度の内容	□知識、■思考・判断の内容	
オリエンテーション	1	○ 準備運動 ・ 附中体操	● 学習の場や用具の準備、後片付けへ積極的に取り組むこと	□ 音楽とのコラボレーション授業であることに通しを持ち、授業の関連性について理解すること	1 関 コラボレーション授業であることの趣旨を理解しているか。
	2	○ 補助運動づくり ・ ストレッチ ・ 体づくり運動	● 補助運動で約束事を守り、仲間や相手を尊重する態度を養うこと	□ 補助運動づくりを通して、ダンスで求められる動きに関する体力（柔軟性、平衡性、筋持久力など）について理解すること	1 関 授業での約束事項や用具の準備の仕方などを理解しようとしているか。
即興的に踊り、イメージをひと流れの動きで踊る段階		○ 多様なテーマから即興的に表現 ・ 物語から表現 ・ 学習した音楽記号から表現 ・ 曲から表現 等	● 仲間のよいアイデアを認め合って、誰とでも楽しく踊りに取り組む態度を養うこと	■ 基礎的な技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫していること	1 関 ダンスの特性に興味を持ち楽しさや喜びを味わおうとしているか。
	3	○ 簡単な動きをひと流れの動きにする「春」の曲に合わせた動きを創る	● 簡単な動きを組み合わせ、連続した動きができるようになること	■ テーマやグループの特性に応じた動きを創作していること	3 知 表したいイメージをひと流れの動きにする表現の仕方があることを理解しているか。
	4	○ 踊りの工夫 ・ イメージや音楽に合わせて、動きの連続や群の構成でまとまりを付けた踊り	● 練習場所の調節をするなどして、安全に気を配る態度を養うこと	□ 練習を通して、創作ダンスで求められる動きに関する体力（柔軟性、平衡性、筋持久力など）について理解すること	4 態 互いの個性や表現を認め合って、誰とでも楽しく踊りに取り組もうとしているか。
	5	○ 動きの効果の工夫 ・ シンメトリー、ユニゾンなど	● 課題の解決に向けて、他者との話合いに好奇心をもって積極的に関わること	■ グループでの自分の役割を理解し、作品作りに協力している	5 思 学習形態を変えながら、効果的に観察を行い、課題を把握しながら練習に取り組んでいるか。
	6	○ 群の動きの工夫 ・ 密集や分散等 ・ 整然とした形、バラバラになった形	● 一つ一つの動きをより、はっきりと表現できるようにすること	■ 自己や他者の課題を様々な観点から見付けること	6 技 動きを誇張したり、変化をつけたりして、「ひと流れの動き」にして踊っているか。
	6	○ 作品発表	● 演技のできばえを理解して、お互いにアドバイスできること		
はじめなかーおわりに構成して踊る段階	7	○ はじめなかーおわりに構成する「魔王」の曲に合わせた動きを創る	● 簡単な動きを組み合わせ、連続した動きができるようになること	■ テーマやグループの特性に応じた動きを創作していること	7 知 表したいイメージをひと流れの動きにする表現の仕方があることを理解しているか。
	8	○ 踊りの工夫 ・ イメージや音楽に合わせて、動きの連続や群の構成でまとまりを付けた踊り	● 練習場所の調節をするなどして、安全に気を配る態度を養うこと	□ 練習を通して、創作ダンスで求められる動きに関する体力（柔軟性、平衡性、筋持久力など）について理解すること	8 態 互いの個性や表現を認め合って、楽しく踊りに取り組もうとしているか。
	9	○ 動きの効果の工夫 ・ シンメトリー、ユニゾンなど	● 課題の解決に向けて、他者との話合いに好奇心をもって積極的に関わること	■ 自己や他者の課題を様々な観点から見付けること	9 思 学習形態を変えながら、効果的に観察を行い、課題を把握しながら練習に取り組んでいるか。
まとめの段階	10	○ 群の動きの工夫 ・ 密集や分散等 ・ 整然とした形、バラバラになった形	● 一つ一つの動きをより、はっきりと表現できるようにすること	■ ステップをよりよくするために、自己や他者の動きに対して、効果的な観察を行い、具体的に実現可能なアイデアを見付けること	10 技 表したいイメージを変化と起伏（盛り上がり）のある「はじめなかーおわり」のひとまとまりの構成で表現して踊っているか。
	11	○ 発表会 ・ 仲間やグループで練習したダンスを発表	● これまで身に付けた力を実感し、自信をもって効果的に課題を解決すること	□ 発表会についてのルールや発表の仕方、鑑賞の仕方について理解すること	11 知 発表会についての発表の仕方、鑑賞の仕方について理解しているか。
			● グループで努力したことを互いに認めようとする	□ ダンスにおけるリズムに乗って全身で踊ることの楽しさや喜びを理解すること	11 関 互いの努力を認め合いながら、発表会で鑑賞しているか。
			● 発表会の中で、自己に与えられた役割に、責任をもって取り組むこと	■ グループで発表の内容を反省し学習のまとめを行うこと	11 思 創作ダンスの単元を通して、自己やグループの技能の変容に気付いているか。
			● 健康に気を付けたり、用具や練習場所などの安全に気を配ったりする態度を身に付けること	■ 安全上の留意点を考えながら踊ること	11 技 表したいイメージを変化と起伏（盛り上がり）のある「はじめなかーおわり」のひとまとまりの構成で表現して踊っているか。

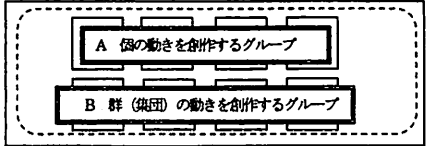
8 本時の実際

(1) 指導区分 8/11

(2) ねらい

- ア 創作ダンスに積極的に取り組もうとしている。仲間の動きを認め合いながら表現の楽しさを味わおうとしている。
- イ 互いに考えた動きを、効果的に表現できるように構成している。
- ウ 表したいイメージをとらえ、動きに変化のあるひとまとまりの表現にして踊っている。
- エ 創作ダンスの特性や学習での約束事を理解し、健康・安全に留意しながら練習に取り組んでいる。

(3) 本時の学習過程

学習過程	時間	学習内容及び学習活動	○留意点 ◎援助・支援 (研究の手立て★)	
準備運動	3	はじめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具準備, 練習場の安全点検 ・ あいさつ, 出欠確認, 健康観察 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用具確認, 練習場, その周辺の安全確認を行う。 ○ 出欠・健康状態の確認, 見学者への指示を行う。
		準備運動 1		
補助運動	3	補助運動 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の記号からイメージする動きを即興で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全員で大きな声で号令をかけさせる。 ○ 簡単な動きで, いろいろなイメージ, 特徴をとらえて表現を楽しませる。
試 行	2	試 行 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの授業で創作したところをグループで確認しながら, 本時の活動の見直しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 即興で表現するための記号を書いたフラッシュカードの活用
		診断		
学習課題の確認	3	学習課題の確認 4	<p>【学習課題】 動きに変化をもたせ, ひとまとまりの表現に構成するためには, 個や群(集団)の動きをどのように工夫すれば良いだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試行を通して, 前時に出てきた課題を踏まえて, 本時の課題を考えさせる。 ○ 動きの構成を工夫させる際に, これまでの学習と本時の学習のつながりを明確にしながら, 学習の見直しをもたせる。
		確認		
相互練習Ⅰ	15	相互練習Ⅰ 5	<p>【相互練習Ⅰ】 動きの課題を追究するパート練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A: 個の動き・B: 群(集団)の動きを考える活動の場(8カ所)に分かれ, パート課題の追究を行う。 <p><活動の場の設定とパート課題></p> 	<p>【相互練習Ⅰ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 動きに変化をもたせるための個や群の(集団)動きに注目したパート課題の設定 ★ 創作した動きをまとめるための学習カードの活用
		【パート練習】 ・ 分かれたグループで動きを考える。 ※ A: 個の動き B: 群(集団)の動き		
相互練習Ⅱ	15	相互練習Ⅱ 6	<p>【相互練習Ⅱ】 動きをつくり上げるグループ練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パート練習で身に付けた動きをグループのメンバーに伝え合いながら動きの構成をする。 ・ 各グループに設置したジグソーボードに動きの説明や組み立てなどを書き込む。 	<p>【相互練習Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 各パート練習で創作した動きを紹介するための場の設定 ★ 各パート練習で身に付けた動きを分かりやすく構成するためのジグソーボードの活用
		【グループ練習】 ・ パート練習で考えた動きのや空間の使い方をグループのメンバーと言葉や図や動きで伝え合う。		
成果確認	4	学習成果の確認 7	<p>【学習成果の確認】 動きを高め合うアドバイス活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「できばえチェック表」をもとに, 隣のグループ同士で, 互いの動きを鑑賞し合う。 ・ 「できばえチェック表」をもとに, 隣のグループ同士で, 互いにアドバイスをし合う。 	<p>【学習成果の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ より効果的にアドバイス活動をするための個や群(集団)の動きに注目した観察 ★ より効果的にアドバイス活動を行うための「できばえチェック表」の活用
		診断		
反省評価	2	本時のまとめ 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードに, 残された課題やアドバイスされたこと等をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アドバイスされたことを次時に活かすために, 学習カードに現在のできばえと, 残された課題を記入させる。
		次時の課題把握 9		
整理運動	1	整理運動 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手足を中心にストレッチを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ストレッチを行う中で, 身体の調子, けがの有無を確認させる。 ○ 大きな声であいさつをさせる。 ○ 用具の後始末の確認をさせる。
		おわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ ・ 用具の後始末 	